



●平成30年第1回定例会

# 議会だより

第166号  
平成30年6月

発行/喜茂別町議会  
編集/議会広報編集委員会

## ●もくじ

審議された議案と結果	……………	P 2
総括質疑 要旨	……………	P 5
議案の審議要旨	……………	P 12
議会の動き	……………	P 18

(表紙写真 鈴川小学校入学式)





# 平成30年第一回定例議会

審議された議案と結果

第一回定例会は、3月8日から14日までの7日間の会期で行われ、冒頭、町長から流雪溝の使用、福祉人材確保・育成の取組の2件の行政報告がありました。

会期中、人事案件1件、町政・教育執行方針に基づく、町長、教育長に対する総括質疑、予算特別委員会（越後耕司委員長）で、平成30年度各会計予算案が審議されたほか、条例の制定及び一部改正、補正予算など、議案24件が審議され、そのうち、すこやか住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正に対し、反対意見がだされ、採決の結果否決されましたが、そのほかの案件は原案通り可決されました。

## 議案 第3号

平成30年度介護サービス事業特別会計予算  
予算総額2千5百10万円

原案可決

## 議案 第4号

平成30年度後期高齢者医療特別会計予算  
予算総額4千1百3万8千円

原案可決

## 議案 第5号

平成30年度簡易水道事業特別会計予算  
予算総額1億9千9百54万4千円

原案可決

## 議案 第6号

平成30年度公共下水道事業特別会計予算  
予算総額1億8千5百46万1千円

原案可決

## 議案 第7号

定住促進基本条例の一部改正  
民間賃貸住宅家賃助成事業を2年間延長し、新たに、住宅促進補助事業と住宅リフォーム支援補助事業を加えるための改正です。

原案可決

## 同意 第1号

副町長の選任  
内村俊二さん 喜茂別町字伏見265番地の1  
任期 平成30年4月1日から  
平成34年3月31日まで

原案同意

## 議案 第1号

平成30年度一般会計予算  
予算総額28億8百67万7千円

原案可決

## 議案 第2号

平成30年度国民健康保険特別会計予算  
予算総額7千8百20万5千円

原案可決

## 議案 第8号

すこやか住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正  
満65歳以上の年齢条件を満50歳以上に引き下げる等の条例の一部改正をするものですが、質疑後の採決の結果否決となっております。

原案否決

（議案第8号の質疑内容については13ページをご覧ください。）

## 議案 第9号

中山峠森の美術館条例を廃止する条例の制定  
中山峠森の美術館閉館に伴う条例の制定。

原案可決

## 議案 第10号

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正  
認定こども園法の改正により条例の一部を改正するものです。

原案可決

## 議案 第11号

国民健康保険条例の一部改正  
国民健康保険の都道府県単位化に伴い条例の一部ものです。

原案可決

## 議案 第12号

後期高齢者医療に関する条例の一部改正  
国民健康保険法の改正に伴い条例の一部を改正するものです。

原案可決

## 議案 第13号

簡易水道給水条例の一部改正  
簡易水道事業統一料金実施に伴い地区の超過料金を改正するため条例の一部を改正するものです。

原案可決

## 議案 第14号

公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例に基づく指定管理者の指定  
指定管理者に管理を行わせようとする公の施設

喜茂別町立診療所  
指定管理者となる法人の名称  
医療法人溪仁会

指定期間 平成30年4月1日から  
平成33年3月31日まで

原案可決

## 議案 第15号

町道の路線廃止  
中山峠道の駅等の排水流末処理工事の実施に伴い路線の終点付近の形状変更により廃止するものです。

原案可決

## 議案 第16号

町道の路線認定  
議案第15号と同様の理由により新たに認定するものです。

原案可決

## 議案 第17号

後志広域連合規約の変更  
国民健康保険事業の都道府県単位化により、広域連合から北海道に国民健康保険事業納付金を納付することになったため、規約の変更をするものです。

原案可決



議案  
第18号

平成29年度一般会計補正予算(第11回)  
胆振線代替バス路線維持費補助金5百6万6千円、農業委員会報酬費2百32万7千円、地域集積協力金交付事業補助金1千1百57万5千円、経営転換協力金交付事業補助金1千5百万円、耕作者集積協力金交付事業補助金3百16万3千円、公共下水道事業特別会計繰出金2百91万3千円の増額と、不用額の整理、事業の確定により5千43万円を減額し、予算総額は28億4千9百82万8千円となります。

原案可決

議案  
第19号

平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)  
後志広域連合分賦金など4百34万8千円減額し、予算総額は1億7百26万8千円となります。

原案可決

議案  
第20号

平成29年度介護サービス事業特別家計補正予算(第1回)  
通所介護等事業費の委託料の不用額2百50万円を減額し、予算総額は2千7百万円となります。

原案可決

議案  
第21号

平成29年度後期高齢者医療特別会計(第3回)  
後期高齢者医療広域連合納付金など35万3千円を減額し、予算総額は3千9百62万9千円となります。

原案可決

議案  
第22号

平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4回)  
事業費確定による不用額など1百28万1千円を減額し、予算総額は1億9千2百31万1千円となります。

原案可決

議案  
第23号

平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第6回)  
事業費の不用額等の整理により32万7千円を減額し、予算総額は1億5千3百31万2千円となります。

原案可決

議案  
第24号

平成29年度一般会計補正予算(第12回)  
畑作構造転換事業補助金5百20万円、町道除排雪業務委託料1千万など1千5百39万6千円を増額し、予算総額は28億6千5百22万4千円となります。

原案可決



中山峠物産館



特産物スープ

予算と執行方針についての総括質疑



小川 泰樹議員

小川議員  
町の現状を見ると飲食店の廃業が続いていると感じているが、この状況について町長はどのように考えているのか。

菅原町長

菅原町長  
私どもの努力が足りないという部分もあるが、非常に残念に思っている。  
なかなか難しいだろうと思うが、今後、代替わりではなく第3者が、やれるような方向と言うものを当然考えていかなければならないと思っている。

小川議員

小川議員  
新規就業者促進事業補助金が今年の予算には入っていないが

だが、辞めてしまうのか。

菅原町長

菅原町長  
申込みや要望がなかったため、今回の予算は付けていないが、今後申込者いけば出来るだけ善処はしたいと思っている。

小川議員

小川議員  
本町の観光協会に事務局長を配置しない代わりに役場から職員が定期的に観光協会に行き業務の手助けをしていると認識しているが、今後も変わらないのか。又、今の状態だと、観光協会の職員に係る負担が大きいのと思うが、町長は、観光行政全体についてはどう考えているのか。

菅原町長

菅原町長  
出来り事なら事務局長がいれば有難いと思っているが、観光協会の内部のことなので、町から言うことではないが、いない場合には行政としても全面的に協力すると言う事で考えている。

今後の羊蹄山麓全体のことを考えると観光は切っても切れないところにあると思う。  
観光協会が法人として設置されているのは大変期待の出来ることでないかと思っている。

様々な独創性のある考え方を前に出して取り組んで頂ければ、それらに対する支援をしたいと思う。  
羊蹄山麓の観光が一過性ではないかと言う観測があるが、継続的になる感じがするので、テコ入れは必要なのかもしれないと思っている。

小川議員

聞き書き集は、本町の大切な資料だと思う。  
現在は冊子のみで配布しているが、本町出身で町外に住んでいる方をはじめ、もっと沢山人に見てもらおう為にネット等で公開する考えはないのか。

細田教育長

細田教育長  
教育委員会では、紙ベースで残されている資料や発行物を電子データ化する取り組みを今年度から進めている。  
聞き書き集についても電子データ化を行う予定しており、終了次第、ホームページまたはリンクページよりインターネット上での閲覧を可能にしたいと考えている。



喜茂別小学校入学式





菊地 光男議員

### 菊地議員

国の財政状況や政策を意識した今後における町の財政状況の見直しについて、町長はどのように考えているのか。

また、財政状況と言うものを考慮して、事業内容・費用対応効果などを十分考慮した上で、議会に事業提案していくことに心掛けていくべきではないか。

### 菅原町長

今回の予算の中で、投資的経費等、一般財源から持ち出すものの比率が多いものは殆ど切っていくと言う形をとっている。経費等も改めて見直し、今後、町税等の収入も上がる訳ではないので、小さな町を目指し、全部を考え直さなければならぬと思っている。

高齢化対策や、子育て対策というものは経常的な形で出るので、

出来るだけ堅持し、高齢化される方々に対して、対応はしていかなければならないと思っている。また、何でも単費を出していくという点では、大体限界が見えているので、今後、有利な起債を中心に道や国の力を借りながら、その戦略の中に乗っていききたい。

### 菊地議員

町長は本年度の執行方針の中で物産館をはじめとする中山峠の観光施設について、新たな総合計画の中で方向性を展望していくと述べているが、中山峠の観光施設に対する将来展望について、どのような考えをもつて新総合計画に望むのか伺いたい。

### 菅原町長

中山峠の230号線と言うのを今一度、その重要性を国や北海道の道としても認めてもらえる道路にしていく必要がある。また、喜茂別の町の中と言うことを考えた場合に中山峠のトンネル化と言うものを、国の方にお願いをしている。今の物産館の建て替えや建て

替えといかなくても大改造が出てくる。

スキー場のホテル等についても撤去問題が出てくるかもしれない。

刻々と変化する、観光行政、観光事情と言うものに対応できず、喜茂別町の観光行政を考えなければと思っている。

### 菊地議員

本町の観光協会は人材不足や財源的な裏付けに乏しい状況であり、私はこう言った状態では二セコ周辺を意識した本町における観光業務を十分に行っている状況では無いと思っている。専任の事務局長がいない状況の中で果たして色々な観光協会が抱えている業務はやっていけるのかどうか、非常に心配している。

執行方針の中で将来を見据えた本町の観光というものを重要と位置付けており、それに見合った関わりや支援を今まで以上に行っていく必要があるのではないかと思うが、町長の考え方を聞きたい。

### 菅原町長

法人として、出来るだけ努力はしてもらいたいとは思っているが、色々な形で行政が関わるというのは批判を受けることもある。

そういう点では出来るだけ法人としての意思を尊重したい。ただ、町づくりと言う大きな観点からお互い連携し、協力しあっているかなければならないと思っている。

事務局長がいない点は、非常に残念だが、行政としても支援をしていきたい。



松橋 正樹議員

### 松橋議員

流雪溝利用のルール作りを、これから改めて明らかにしていくと言うことだが、町内の除雪のあり方についてもルール作りをしたほうが良いのではないか。

### 菅原町長

流雪溝に関しては、同じ時間帯に、何箇所に入ると、流しきれないこともある。

ルールづくりを考えて行く必要があると思っている。

### 松橋議員

役場職員が昨年から、空き家確認を行っているのを見ている。空き家等の状況提供できる準備を進めていくとあるが、いつから実現出来るのか。

旧中学校の教員住宅が何軒かまだ空いていると思うが、今後の展望があるのなら伺いたい。

### 菅原町長

空き家の状況調査は終わっており、その空き家が誰の持ち主なのか確認している。

個人情報等の問題もあり、相手側の確認等が出来次第、紹介できるような形をとりたいたいと思っている。

旧中学校に関しては、市街地に近い側を試験的に販売していければと思っている。

### 松橋議員

以前3件の、新規就農者が入って5年位になるが、町長は3件の新規就農者の結果を踏まえた上で、今後、どう言う方向性で新規就農者を募集するのか、見解を伺いたい。

### 菅原町長

就農をするのは単純にはいかないという勉強もしたので、その辺は注意しながら、やってまわりたい。

ただ、このままでは後継者がいない状況で、法人化を支援するということも、農業問題の解決策として、考えていきたい。

### 松橋議員

野生鳥獣を、土日に捕獲したものは月曜日に回収に行くような形でルールづくりをした方がよいのではないかと思うのだが、見解があれば伺いたい。

### 菅原町長

野生鳥獣の土日の捕獲については職員の業務の範囲の中で、協力願いたいと思っており、今後検討した。



館内 榮議員

### 館内議員

下水道汚泥の関係で、昨年、生ごみ処理施設での処理を試験的に取り組んだ説明を受けているが事前に説明しているのか。

### 菅原町長

住民に事前には説明はしていない。

試験的にやれるかどうかというのと、成分分析を行うというところでやったので、住民には事前に説明はしていない。

### 館内議員

生ごみ処理施設に係る地域との覚書の中で成分分析の開示をするとなっていないが、今現在、開示はされていない。

出来てから一年以上経過し、開示しなければ地域の人は、おかしいと思う。

### 菅原町長

昨年の12月に試験を行っているが、低温時でもやれるのかについて、成分分析をやっており、過日、一応初期の報告書があきあがった。

これから正式の成分分析が出来上がってくると思うが、初期の段階では肥料として認定することはできるということで、安心している。

今後それを継続してやるかについては地域の住民との話し合いが必要だということ、今までもお願いしていた処理業者との関係、近間でのいう処理施設に運ぶ経費等を考えて、余裕があるのであれば、町の施設で処理ができないのか考えている。

### 館内議員

当初計画で活性汚泥については、やらないで生ごみだけという話だったと思うが。

### 菅原町長

覚え書きの方は確認をしているが、これはここに書く、書かないと言う問題ではなくて、地域の問題としてもとらえていか



なければならぬと考えている。

### 館内議員

町内経営農家の法人化という話がでて、実際動きだしているが、町としての支援策を伺いたい。

### 菅原町長

一般の農家の方々よりは十分、お金が流れるような形が整っていくというのが今の流れではないかなと思っっている。

それにはさまざまな手続きが必要であるので、役場の仕事としても一生懸命やらせていただきたいと思うし、多面的機能の交付金も含めて広域的な農業体系になっていくと思っっている。もっと前から誘導策がなされており、職員をも現状からすると多めに、あるいは手厚く配置して対応して来た。

そういう点では、今こうした補助金を支出して支援するというよりも、一つの流れをきちっと行政として捕まえて支援をしていくということになるのではないかなと思っっている。



堀 浩和議員

**堀議員**  
執行方針の中で「定住人口の増加」「地域経済の活性化」「安全で安心な町づくり」の3点が町づくりの方向性として位置づけられている。

その中で特に重点的に「定住人口の増加」ということで、取り組んでいきたいと述べている。今年の執行方針でいうと、ある意味あまり目玉的な政策がなく、今までの強いリーダーシップと強力なイニシアティブで町民なり職員を引っ張ってきた町長が今年は、守りに入っているような執行方針と捉えてしまうが、町長の見解を伺いたい。

### 菅原町長

中味の検討は必要なことだろうと思っっている。  
そんな中で、目玉が無い、あるいは、やる気がないのでと、

極端に捉えればそういうことだと思っっているが、私も今回、職員は非常にやる気があって、さまざまな提案をしている。

### 堀議員

本町の資源を最大限に活かした産業全体の振興に取り組んでまいりたいとあるが、本町は、そんなに大きな資源が無いように思っっている。

喜茂別町長として思っ最大の資源は何なのか。

### 菅原町長

喜茂別が財産として持つっているのはアスパラだと思っっている。230号線・276号線全体をお客様とすれば、これほど有益なものはないと思っっている。その2点が大きいところではないかと思っっている。

### 堀議員

昨年の執行方針の中に定住促進対策を検討する組織を町内に設置するとあった。

基本方針の中に人口減少対策・災害への対応・人材の育成とあるが、検討する組織の中で



戸井 博志議員

### 戸井議員

前町長の政策で実行された事業であるが、現喜茂別町長として、美術館の廃止、解体、撤去することになったことについて統括的にどのように考っているのか。

### 菅原町長

大変、本町にとっては重たい話だと思っっている。  
維持管理費あるいはこれからの修繕と考った場合には、そのまま残す訳にはいかないと考っことで今回決断をして、お諮りをするということである。  
私としては残念であり、力不足でもありで、もっと違った形があったかもしれないと思っいはある。

又、これまで努力されてきた皆様方に対して深くお詫びを申し上げると同時に、皆様方の努

定住促進に絡めて結果や、要望があれば伺いたい。

### 菅原町長

一番は住宅対策じゃないかという提案をいただいている。住むところがあれば、人口対策にもなるのではないかと考っ結果だろうと思っっている。  
住宅対策が1番手短な解決策だろうということである。

### 堀議員

昨年の執行方針で地域資源を活かした商品開発等を行う人材確保に地域おこし協力隊制度をつかって人を呼び込むと述べているが、本年度には述べられていない。  
その辺の考っはどうなのか。

### 菅原町長

継続的にやっっていくかなければと思っっている。

### 堀議員

産業振興課には農業部門と商工部門があるが、最近の産業振興課の仕事の量が多くなっっており、職員に負担がかかっっている。

力と言うものをどこかで残しておけるようなことをしなければ、納得がいくようなことでは無かったのではないかなと思っっている。

### 戸井議員

すべてオープンにして町民に事実はどういうことで、政策の失敗がこうなると知って貰うべきだと思っっている。

### 菅原町長

具体的にもし必要であれば、議論はしなければいけないが広報等で1回まとめ整理しておく必要はあると思っっている。



喜茂別中学校入学式

のではないかなと思っるので、課を、2つに分けるような考っは無いか。観光とか定住促進の分野でいうと、総務の企画室もある意味該当すると思っが、一緒にという考っはないのか。

### 菅原町長

何か事業をやっっていくことになれば職員の負担というのは相当かかっってくるので、出来るだけ力を合わせる、あるいは常に仕事を計算しながら、やっっていくということになるのではないかなと思っっている。

### 堀議員

これからの社会は、これまでの社会の延長線上にないという認識のもと、「生きる力」の育成が求められていると執行方針に述べられている。

教育長が思っこれからの子供たちに一番必要な生きる力は、何だと思っるか。

### 細田教育長

見通しのきかない社会の中において、その子供たちが生きて行く力を育むことが必要だと

考っている。

### 堀議員

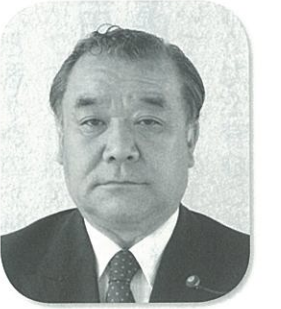
教育委員会も今後において「自立・共生」の町づくりを目指すと思っられているが、教育委員会が目指す自立の形はどういうものか教育長の見解を伺いたい。

### 細田教育長

「自立と共生」については、総合教育会議の中において定められた大綱になっている。  
自立の内容については自立の精神に溢れ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む。ことで共生については、共に支えあい、共に学び、成長する人を育てること。

この2点を基本として本町の教育を進めることとして思っっている。





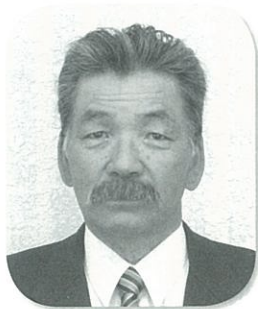
越後 耕司議員

**越後議員**

来年度から導入される、保険制度の関係で議決がなされた。19年から後志広域連合に16町村が参加し、事務や一部、の保険や債権回収等の業務を担ってきたが、町村と道が間に広域連合の機能が無くてもいいのではないかと言う印象をもっているが、町長の考えを聞かせてほしい。

**菅原町長**

広域連合を作った時には予定はしていなかった、こともあり。広域連合としての役割は終えたということだが、新たなものを一定程度、目標に掲げる必要もあり、現在、議論をしているところですが、広域連合に対する役割として、国保の関係については、仕事が無くなるとは言



松田 薫議員

**松田議員**

執行方針を読んでいて本当に安全な町づくりで最大限寄与できる町づくりがやれるのかと、はなはだ疑問を持つが、考え方があるなら伺いたい。

**菅原町長**

安心・安全について、指摘のとおり何年経っても、やらないと言うこともかもしれないが、出来なかったことは頭を下げなければならぬと思っている。

**松田議員**

今まで施策の実現に向けて職員とともに精神誠意全力を傾けてまいり所存ですと、一言一言が必ず執行方針の中にあつたが今年に入っていない。

考える一年にする訳だから職員の協力はいらぬのかどうかはわからないが、先ほど同僚議

わなないまでも、同じような人員はいらぬのではないかと。

ただ、医療費の削減努力は各町村にゆだねられており、これらを統一的なことで、後志広域連合の、財政の健全化や権限というものを突き詰めていくことは出来るのではないかと思っている。

ただ、本町だけの問題ではないので、より慎重でなければいけないが、主張はしていきたい。大きな広域体制であり、後志広域連合が目指す目的も、まだまだ変わる可能性があると思っ

**越後議員**

すこやか住宅の改正条例が議会において否決されたが、直接的な運営には支障はないと思うが、現行条例の中でやるにしても、地域の協力も相当得なければやれないと思う。

今後、議会との相談の中で再度、条例を出すことを考えているのか。

**菅原町長**

お年寄りの方がまだ沢山いる

員の質問の中で、町長にとって我が町の資源は何かと言う問いかけに対し、私は我が町の職員ですと、そのように町長が答えるだろうと思っていたし、質問者に後で確認したが、そのような答えを期待していたということであった。

なぜ、今年に限って、これが抜けていたり、我が町の資源はアスパラであつて職員でないのか、明確に意思表示をしてもらいたい。

**菅原町長**

私の仕事自体、職員がいなければ、前には進まない。そう言う点では共同作業として、あるいは支えてもらうという事でなければ前には進まない。

そのことを今後職員対応と言う形で、表記するということが大変なことであるならば、配慮が足りなかつたということになるかと思つている。

ので、その方々をどういう形にするのか、課題になつていく。時間がかかることから、待つことも必要と思うので、当面は変更ということはないと思つている。

**越後議員**

TPPが話題になり5、6年になるが、この間、菅原町長のもとで、高収益作物の振興など、色々な施策を取り入れ一定の成果がでていると思う。

町長の答弁の中に、国の農業政策の変更がから農業の大型あるいは法人化を目指している。

町長の答弁を聞いてみると、限られた町の資源の中で、国の政策支援として、手厚くされているものについては、事務上の手伝いはするが、補助金や補給金については躊躇があるというふうに理解しているが、確認したい。

**菅原町長**

TPPだけでなく、食

生活の変化・人口減少など、これらはどう見ると言うこともある。農業者の内部的問題として、人手不足と思う。限りある予算の中では一度見なおしをして、大型農業を目指していくと答えたが、国の補助や道の補助があるので、ここは一生懸命頑張つて繋げていきたいと思つている。



喜茂別保育所入所式

次の定例会は、6月の上旬から中旬を予定しております。

町民の方の傍聴をお待ちしております。

※日程は、IP告知端末又は議会事務局（TEL 33-2217）でご確認ください。



# 議案の審議要旨

## 議案第7号

喜茂別町定住基本条例の一部を改正する条例の制定について

### 松橋議員

条例中、一般移住者と一般者との違いの説明を伺いたい。

### 伊藤建設課長

一般者は今まで喜茂別町に住んでいる方で、移住者は、平成30年4月1日以後に喜茂別町に転入し住民登録した方で、住民登録をした日以前5年までの間に喜茂別町に住民登録をしない方と定義している。

### 松橋議員

予算書を見ると、住宅取得促進補助金として400万円、住宅リフォーム支援補助金として150万円が計上されているが、この事業の実施期間が2年間という縛りの中で、申込みが本年度に手

中することが予想される。この場合の対応について確認したい。

### 伊藤建設課長

本年度予算においては、新築分として250万円、中古分として150万円、合わせて400万円を計上しているが、申請が多い場合には、内容を精査し補正予算により対応していきたい。

### 菊地議員

本条例が平成24年3月の定例会で可決されたから各種事業がスタートしているが、今日までの間に今回のような新たな事業の追加や事業内容の変更が幾度となく行われている。

### 菅原町長

全体像を見て現課に指示を出し、条例にある定住促進の中で議論してほしいということ。現課の中で調整させた。様々な意見を聞いて委員会を作り、やったということではない。

### 菊地議員

私は定住促進対策事業が本町の人口減対策の重要施策であると思う。

そういう観点からも役場内部の議論はもろろんのことだが、商工会に設置されている「喜茂別町まちづくり検討委員会」を活用して幅広い英知を結集した中で、こういう促進事業を取り組むべきではないかと常日頃思っている。

先ほど、同僚議員から質問があったが、2年間の期間だとかそういうものが果たしていいものなのか議論も十分されていないため延長延長ときている。検証も十分したという報告もないわけで、そういう中で本来なら特別委員会等を作って充分議論をすればいいのだが、そのような関係もあるのであえて質問をしている。

### 菅原町長

特別委員会等で議論をしていただければ、議論が深まっているのではないかと思っている。

### 堀議員

以前の建設課長の答弁の中で、旧中学校の三角屋根の教員住宅を春以降に売りに出すことを検討しているという答弁があったが、町として売りに出すのであれば、取得したいという声が届いている。

仮に土地を含めて中古住宅として取得し、リフォームするとしたならば、中古物件の取得とリフォーム費用の両方に該当するのか伺いたい。

### 伊藤建設課長

まだはつきりしていない部分もあるが、本条例においては中古住宅の取得やリフォームした場合も該当するような形になっている。

## 議案第8号

喜茂別町すこやか住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 小川議員

入居条件の中で町に在住している者を削り、年齢を満65歳以上から満50歳以上に変えるところが、なぜ変えるのか。

### 東原元気応援課長

双葉地域でアンケート調査を行った結果、50歳代の方で今すぐではないが次の住居として考えたいという方やそれ以外に移った方が良くと思われる方が50歳代の方がいる。

また、喜茂別町在住を除外し広い視野、範囲の中から公募したいというところも含めて根本的な定義を変えず、入居者要件の緩和ということで年齢を50歳まで引き下げた。



ウサバラ号

### 小川議員

条例の中で、すこやか住宅とは高齢化等により地域社会の活力が低下し、生活環境の保持が困難にある地域等に安心して住み続けるよう地域が協力して快適な暮らしを実現させるために賃貸する住宅及びその付帯施設をいうとあるが、満50歳の方が高齢化にあたるのか疑問に思う。条例の中は変えないで、このまま改正しようということなのか。

### 東原元気応援課長

基本的定義考え方は変わっていない。

地域の高齢化が進むのを助け、地域の中で今後も住み続けるということを理念、定義としているが、そこに入ってくる人たちや地域の中の人たちが今後どうしていくのか、ということを考えて入居者の要件の緩和ということで50歳まで下げた。

### 小川議員

条例のただし書きで入居者選考委員会に改めると書いてあるが、なぜか。また、委員会の構成はどうなっているのか。

### 東原元気応援課長

現段階で入居者選考委員会については、今ある喜茂別町公営住宅入居者選考委員会の委員、双葉地区自治会の会員、町内で住宅事情に明るい者、この3件から委員を選任して選考委員会を構成したいと考えている。



交通安全街頭指導

### 松橋議員

条例ができて2年に満たない中で入居年齢を65歳から50歳に変えた根拠は何か。

障害のある方や生活に不備がある人が入ると形を取るならわかるが理解ができない。

### 東原元気応援課長

基本的な定義としては、あくまでも高齢者等ということなので、この住宅を整備した時の定義として、誰でも良いということ





火の用心

とはなっていない。  
ただし、65歳以上の定義の中で、もう少し緩和した方が地域を含めて入居者が増えるのではないかと考えから、町としては50歳が妥当と判断し、50歳としている。

#### 松橋議員

要望があり、福祉政策として単費でやったと思うが、地区から入居者がいない状態である。アンケートを取った結果、50歳になったという説明だが、そのアンケートと、すこやか住宅を建てるにあたって委員会があったはずなので、その経緯も含めて資料請求をしたい。

※資料請求後

#### 松橋議員

資料請求をして住民アンケートを見てもわからないのだが、50歳と決める根拠というのがどこにあるのか。

#### 東原元気応援課長

アンケートの結果、地区に移転しても良いという50代の方が

いたこと。

また、地域外に住んでいる50代で、転居などの住宅事情から入居対象と思われる方がいたので、こうした方々に住んでほしいとの思いから、当初65歳であった年齢制限を、現状を踏まえた上でアンケートの結果などを考慮し、今後の改善策として、年齢を引き下げる緩和要件によって改善が見込まれるという観点から改正の提案をさせてもらった。

#### 松橋議員

当初の目的にあてはまる人が出てきた場合は、どうなるのか疑問点がある。

#### 東原元気応援課長

50代の方が入ったあとに何年か後に65歳以上の方が入りたい場合どうするかという件については、条例の中で5ヶ年という期限を当てはめて、見直しをかけることになっているので、その5ヶ年ごとの間において見直しなど検討していきたいと考えている。

#### 松橋議員

モデル地区として始めてから2年も経っていない。  
現行条例で3、4年やりながらだめであれば変えるのも良いがなぜ今なのかわからない。

#### 東原元気応援課長

現状を打破するため、どのような形が良いのか検討した結果、今後、この方法が良い方向になるという判断のもと提案した。

#### 堀議員

私もこの検討委員会に携わっているが、当初の説明では、双葉では、高齢者が畑仕事もできない高齢者が増えてきている。ただ、そういう人たちは双葉に住むところがあれば、自治会もしっかりしている。双葉の地域に残りたいという話から検討委員会が立ち上がったと思っており、当時のまちづくり懇談会でも、双葉にそういう住宅があればありがたいという要望があり計画がスタートしたと聞いている。

また、町長も議会の場で双葉地区の皆さんの地域愛というも

#### 松田議員

入居が適当と認められた者が町長の意向で駄目になった事実がある。  
65歳の年齢制限のことで駄目だという報告を受けているが、事実関係をきちんと話していたきたい。

#### 菅原町長

30代の方が地域の推薦で入りたいと紹介されたが、条例が施行されたばかりの中、一応65歳ということ、例え双葉地区ということでも、例え福祉の面的にも、そぐわないということと、65歳という流れがあつて、町長にいくらか裁量権があつたとしても年齢の半分ぐらいの人を入れるというの、大きな課題をかかえることになるの判断から私の段階では許可はしないということにした。

#### 松田議員

この関係では、早い段階で入居について担当課の方に相談しており、内諾を得たということ、理解をしていたが、許可する立場の者が間違った判断のもと

のを信じて建てたと答弁しており、そうした思いが根本的に狂ってくると思うが、町長の考えを聞きたい。

#### 菅原町長

ある意味町民の財産であるので、これを有効に活用するという点では、間口を広げていくというのも一つの方法ということ、今回提案させていただいた。今後双葉地区の問題だけでなく他の地区でも同じようなことも言えるという点で、もっと調査が必要だったという反省はある。

地域の役員の方々の思いだけでは、なかなかうまく運んでいけないことがあることを痛感しており、非があるとなれば私の責任だろうと思っている。

#### 堀議員

覚書の七番に入居者の住宅利料の徴収は地区で実施する。ただし、入居者の意思を尊重する、また、自動振替が可能であれば別途協議するところがあるが、今の家賃徴収は地区で行っているのか。

で許可されたと理解して良いのか。

それとも町長が決裁していないから許可に至っていないと理解して良いのか、町長に伺う。

#### 菅原町長

最後の判断は町長、ということとで上がってきたと思っている。私が当然、責任をもってダメと判断したことだが、そういう方がいて、喜茂別に住みたいということであれば、町長の特権というところではないが一度住宅を探してみたらということ、今は公営住宅に住んでいただいている。

#### 松田議員

現課の判断が間違っていたということ、良いのか。

内部統制上というとも大きな疑義が生じているが、現課では間違った返答をしたということなのか。

#### 菅原町長

現課の間違った判断ではなく、それは双葉の地区のことを考えた判断でもあったので、そ

町内の所有物の家賃を地区で徴収するとしているこの覚書が法的に正しいのかどうか伺いた  
東原元気応援課長  
現在入居している方については、地区では徴収はしていない。納付書を発行し、入居者の家族の方に直接納付願っている。

#### 内村副町長

自治法施行令第158条の第1項においては、地方公共団体の歳入のうち、使用料、手数料、賃貸料及び貸付金の元利償還金に

については、私人にその徴収又は収納の事務を委託することができると定められている。  
今回、その覚書の中で徴収を自治会の方でという意味合いについては、ここでいう徴収という部分の意味合いよりは、どちらかというと入居者の利便性を確保しようとする意味合いからの徴収という言葉になっており、誤解を生じる部分もあると思うので今後において、その覚書の方の文言等についても精査をしたい。



の結論は町長の責任ということになる。

今回の場合は最後まで町長のところまで上がってくるということで、事の重大性というのは当の本人たちもわかっていた、と思う。

**松田議員**

それでは、断わるべきだったということか。

**菅原町長**

そこで判断できるものであれば、判断してほしかったと思うが、私が判断ということであつたので、それはそれで正しい判断だと思う。

**松田議員**

そのことについて地域にも、住民にも多大な迷惑をかけたという事実は残る。

入居が適当と認められた女性の方に謝罪すべきと思う。

**菅原町長**

謝罪する必要はないと思う。

**松田議員**

覚書の8番目に、定めがない事項が生じた場合、内容に変更が生じた場合には双方誠意をもって協議し解決するものとするという一項目がある。

この覚書を尊重しないまま町長の意向で駄目になるといふことは地域としても想定外のことではそれ以来、町長と地域との信頼関係というのが完全に破壊されたままで、おそらく回復困難だと思う。

地域にきちんと謝罪の言葉を述べるのと、入居予定していたその女性の方にきちんと失礼のないように町長がお詫びをすることが必要ではないか。

**菅原町長**

一生懸命やっているつもりではあるが、別に頭を下げる必要はないと思っている。

双葉の方々にも事情を直接お話できれば大変ありがたいなと思っっている。

**松田議員**

この条例の年齢制限を変えて、どうしようとするのか。

**反対討論**

**松橋議員**

2年未満で条例改正になる事に納得がいかないので反対する。

**松田議員**

年齢制限を下げる等の条例改正案が出ているが、問題解決には程遠い気がする。

少なくとも3年や5年経過した後で条例の改正案を出すことが本筋であつて、今ここで年齢を50歳にしても何の意味もない

**菊地議員**

空き室はあるかもしれないが、原点に返つてこの事業を続けていくことが必要であり、地域にはそういう努力をしてもらう必要があるので、条例案には反対する。

※起立採決の結果、賛成の起立者がいなかったため議案第8号は否決されました。



すこやか住宅

この事業の結合するところに従つて効果が期待できると思うのか。

覚書は私文化したものとかわれまますので関知しない。

**菅原町長**

決してその覚書を私事に仕事にしている話ではない。

65歳に近いという人であれば話しをして条例にはこう書いてあるが是非双葉の方々にも理解をいただきたいと話をするかもしれない。

あまりにもかけ離れた許可はしないということである。

**松田議員**

入居にあつた地域の地域として役割は当然あると思うが、一刀両断で町長の意向をかざるのではなくて、もう少し多様性、柔軟性を持った行政運営をしていくことを地域に担保してくれるなければ、地域とはやれない。

**菅原町長**

決して一刀両断でやったわけではないし、手続きもきちんとして踏んでいる。

**菊地議員**

この場の議論を無駄にしないで将来につなげていくならば、管理を担っている地区の方々と担当者がやるのではなくて理事者が外向いて話をし、そこであるべき姿を色々と決めていく事が大事だと思う。

**菅原町長**

代表者には、度々会つているので、これまで同様に話しをすることは問題ないが、一定程度職員の中でも行われて、一端動かしだしている条例ですから、それは淡々とやっていただけではありませんか。

**菊地議員**

今条例がスタートして間もない時期にこれだけ改正をするという事は決算特別委員会における議会側の指摘を受けて、この住宅の空いている部分を何とか解決しようとするために条例改正に至つたのか。

**菅原町長**

そのとおりである。



中山峠 森の美術館



# 議会の動き

平成29年12月14日～平成30年3月13日

## 12月

14日 第4回定例会

全議員出席

22日 羊蹄山麓環境衛生組合定例会

羊蹄山ろく消防組合定例会  
組合議員出席

## 1月

6日 消防出初式

各議員出席

7日 成人式

正副議長出席

11～12日

羊蹄山麓町村議会正副議長会定期総会（札幌市）

正副議長出席

13日 老人クラブ連合会新年会

議長出席

15日 広報編集委員会

編集委員出席

## 2月

5日 総務常任委員会

各委員出席

経済団体との意見交換会（経済常任委員会）

各議員出席

8日 高橋はるみ知事を囲む昼食会

議長出席

16日 後志町村議会議長会定期総会・行政懇談会

（札幌市）

議長出席

18日 喜茂別XCスキーレース

各議員出席

20日 羊蹄山麓町村議会議長会定期総会50周年記念式典

同町村長会議合同研修懇話会（倶知安町）

正副議長出席

23日 第1回臨時会

全員協議会

全議員出席

議会改革調査特別委員会

27日 後志広域連合議会第1回定例会

連合議員出席

## 3月

2日 議会運営委員会

全委員出席

8～13日

第1回定例議会

全議員出席



ウサパラ旗の波

## 編集後記



今年の冬は、例年になく大雪でしたが、春の訪れとともに雪も消え、本町の農作業も本格的に始まっております。

近年における気象の特徴として、全国的に異常と言われる状況が続いており、今後の気象状況が心配されるところです。

さて、最近の国内の政治情勢を見ると、安倍内閣の長期政権の影響からか、各省庁の隠ぺい体質が露見し、内閣の支持率も低迷状態が続いております。

また、国外を見ると北朝鮮の核完全廃棄に向けた米・朝首脳会談の行方に多くの人々の関心が集まっており、日本政府としても拉致問題の全面解決に向けて最大の努力が求められております。

政治に携わる者は、地域においても、常に国内外の情勢に関心を持ち、地域のために貢献していく姿勢が問われています。私たち、町議会議員の任期も残すところ1年となり、過去3年間の活動内容を検証し、さらなる研さんを積み、残る任期を務めたいと思っております。

議会広報編集委員 菊地 光男